

出羽商工会景況調査報告

[調査要領]

調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100 社 (製造業 24、建設業 24、小売業 26、サービス業 26)
 調査時点 : 令和 4 年 6 月 (1 期)・9 月 (2 期) ※1 期 (4-6 期) 2 期 (7-9 期)、3 期 (10-12 期)、4 期 (1-3 月)
 調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング
 ※D. I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で以下により算出しており、将来の景気の方角性を値で表している。
 D. I. = 【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】 - 【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】

【全体】

- 第 1 期及び第 2 期の DI は総じて回復傾向にある。前年同月期と比較し第 1 期 +18. 4P、第 2 期 +10. 5P 増加しており景況感は上昇している。
- 新型コロナウイルスの状況、ロシア・ウクライナ情勢の動向など、引き続き今後の見通しには不透明なところが多く、中小企業の先行きへの警戒感は続いている。

【製造業】

- 第 1 期は 4. 5P まで回復し持ち直しの傾向が見られ、直近 3 年間で最も DI 値が高く推移した。
- 一転、第 2 期は資源価格の高騰、円安傾向などを背景に -19. 0P と大幅に下落した。

【建設業】

- 前年同月期と比較し第 1 期 -0. 7P、第 2 期 +21. 5P 増加し、景況感は上昇傾向にある。
- 第 2 期 -4. 6P は直近 3 年間で最も高い DI 値であり需要の増加が伺える。

【サービス業】

- 前年同月期と比較し第 1 期は +26. 4P で 4. 4P のプラスに転じ、回復への期待感が伺えた。
- 第 2 期は新規感染者増加による影響により -4. 6P まで下落したものの、前年同期と比較し +7. 4P と回復の傾向が見られた。

【小売業】

- 小売業の第 1 期は前期である第 4 期の -76. 2P から -35. 3P まで回復した。第 2 期は -18. 2P まで持ち直している。
- 景況感は、前年同期と比較し第 1 期は +12. 3P、第 2 期が +16. 8P と回復基調にある。

6 月調査 前期 (1 月 - 3 月) と比べて今期 (4 月 - 6 月) の業況は						9 月調査 前期 (4 月 - 6 月) と比べて今期 (7 月 - 9 月) の業況は					
区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体	区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体
好転 A	22. 7	4. 3	5. 9	17. 4	13. 8	好転 A	14. 3	4. 5	22. 7	22. 7	18. 0
不変 B	59. 1	69. 6	52. 9	69. 6	58. 6	不変 B	52. 4	86. 4	36. 4	50. 0	55. 1
悪化 C	18. 2	26. 1	41. 2	13. 0	27. 6	悪化 C	33. 3	9. 1	40. 9	27. 3	27. 0
DI (A-C)	4. 5	-21. 8	-35. 3	4. 4	-13. 8	DI (A-C)	-19. 0	-4. 6	-18. 2	-4. 6	-9. 0

景況判断「DI」全業種及び業種ごとの推移

